

京都大学生協
クラウドファンディング事業
～京大生協の灯を消さないために～



取り組み概要

日時：1/4～2/28
参加者数や組合員の反応
総支援者数延べ400名
総額518万1555円の支援

背景や概要：「京大生協を支援したい」という京大卒業生や、関係者のOB・OGの声が多数寄せられた。“増資”や“利用”によって支援できないので、クラウドファンディングという手段を取り、支援を受けられるようにした。

組合員組織とは、どういった組織か

POINT.1

京大生協の「経営危機」へのアクション



2020年9月30日に「京都大学生協同組合の経営状況のご報告と利用促進のお願い～京大生協の灯を消さないために～」を京大生協HPに掲載しました。そこには京大生協の「経営危機」の状況と「組合員のみなさまへのお願い」が書かれてあります。京大生協の利用が減少していること、20年度決算で債務超過になる可能性があることが示唆されています。また、京大生協を組合員に少しでも利用してもらいたいという願いについても書かれてあります。

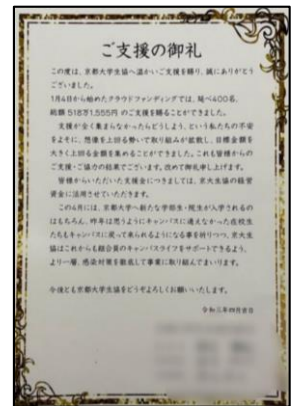
京大生協は危機的状況に対して、組合員に「危機的状況です」と隠さず伝え、利用や増資のお願いをしました。

POINT.2

誰が、なぜ京大生協を守るのか

その後、京大卒業生や関係者のOB・OGから「京大生協を支援したい」という声が多数寄せられました。卒業生や遠方に住んでいる方は、生協利用など支援をする方法がないので、今回「クラウドファンディング」で支援をしてもらうことを企画しました。

大学生協は組合員が作っていく組織です。大学生協の存続の危機に、組合員が手を挙げ、守ろうとしているところに協同組合としての価値を再認識させられます。また、これまで京大生協がたくさんの組合員の大学生生活を支えてきたことをくみ取ることができますね。



POINT.3

大学生協はやっぱり必要



クラウドファンディングがスタートしてからわずか1週間で目標金額に達しました。その後も募集期間終了まで支援は続き、支援者の合計が400名、総支援額が518万1,500円集まりました。支援者の数と支援額から、たくさんの人が京大生協の支えになりたいという想いで本事業に支援したことを読み取ることができます。

大学生協の存在意義が問われる昨今ですが、本事例から「大学生協は大学において“無くてはならないもの”ということを京大生協の組合員や関係者が“声”と“形”にしてくれていますね。」